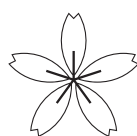


令和 2（2020）年度

「外国高等学校出身者」および「海外帰国生徒」対象入学

学生募集要項



学 習 院 大 学

この「学生募集要項」には、出願から入学手続完了までのすべての事項が記載してあります。熟読して、間違いのないように十分に注意してください。

試験当日はこの「学生募集要項」を持参してください。

—目 次—

① アドミッションポリシー	1
② 趣旨	6
③ 試験日程・試験科目等一覧	7
④ 出願資格・出願書類	8
出願資格	8
A. 外国高等学校出身者.....	8
B. 海外帰国生徒.....	9
出願書類	11
⑤ 志願票①（記入例）	13
⑥ 出願期間	14
⑦ 出願上の注意	14
⑧ 入学検定料	14
⑨ 受験票	15
⑩ 受験上の注意	15
⑪ 合格発表	16
⑫ 入学手続	16
⑬ 入学辞退について	16
⑭ 過去 5 年間の選考結果	17
⑮ 納付金	18
⑯ 「外国高等学校出身者および海外帰国生徒対象入学」出願に関する Q & A ...	19
⑰ 入学検定料の返還について	21
⑱ 在留資格の取得について	21
⑲ 構内案内図	22

個人情報の取扱いについて

本学では、個人情報について、法律及び「学習院個人情報保護規程」に基づき慎重に取り扱っております。

出願及び入学手続においてご記入いただいた住所、氏名、生年月日などの個人情報は、「入学試験の実施」「合格発表」「入学手続」及びこれらに付随する業務の処理を行うために利用します。

また、統計処理した上記個人情報を、学習院大学における「入学者選抜方法の検討」「教育改善のための調査・研究」「大学の管理運営（各種調査・分析、事業企画）」「広報活動」及びこれらに付随する業務のための資料として利用します。

なお、処理業務の一部は、本学アドミッションセンターより機密保持条項を含む契約を締結した業者に委託し、その際、必要な範囲で個人情報の全部又は一部を提供しますので、あらかじめご了承ください。

学習院大学 アドミッション・ポリシー

学習院大学は、大学全体の理念・目的を、以下のとおり定めています。

「学習院大学は、精深な学術の理論と応用とを研究教授し、高潔な人格及び確乎とした識見並びに健全で豊かな思想感情を有する、文化の創造発展と人類の福祉に貢献する人材を育成することを目的とする。」

これを具現化するために、全ての学部・学科、研究科・専攻において、教育研究上の目的及び教学に関わる3つの方針（卒業認定・学位授与の方針：ディプロマ・ポリシー、教育課程編成・実施の方針：カリキュラム・ポリシー、入学者受入れの方針：アドミッション・ポリシー）を、別に定めています。

※ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーについては、学習院大学ホームページをご覧ください。

https://www.univ.gakushuin.ac.jp/about/introduction/policy/edu_policy.html

① アドミッション・ポリシー

学習院大学では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、各学部・学科及び研究科・専攻で掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

法学部

法学部では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、学科ごとに掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

法学科

法学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。
（知識・技能）

1. 幅広い教養と専門知識を修得するための基盤となるよう、高等学校卒業相当の学力を有している。
 2. 自分の考えを伝え、他者の考えを理解するための前提として、高等学校卒業相当の国語及び外国語等の知識を備えている。
 3. 深い洞察力と論理的思考力を養うために、高等学校卒業相当の数学・地理歴史・公民等の知識を備えている。
- （思考・判断・表現）
4. 物事を多面的に分析した上で、様々な意見を理解し、自らの考えにつき積極的に表現することができる。
- （関心・意欲・態度）
5. 社会の諸活動・諸現象に関心を持ち、自分なりの問題意識をもって物事を主体的に分析するとともに、他者の考えを理解しようとする意欲・態度を有している。

政治学科

政治学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。
（知識・技能）

1. 幅広い教養と専門知識を修得するための基盤となるよう、高等学校卒業相当の学力を有している。
2. 自分の考えを伝え、他者の考えを理解するための前提として、高等学校卒業相当の国語及び外国語等の知

識を備えている。

3. 深い洞察力と論理的思考力を養うために、高等学校卒業相当の数学・地理歴史・公民等の知識を備えている。
(思考・判断・表現)
4. 物事を多面的に分析した上で、様々な意見を理解し、自らの考えにつき積極的に表現することができる。
(関心・意欲・態度)
5. 社会の諸活動・諸現象に関心を持ち、自分なりの問題意識をもって物事を主体的に分析するとともに、他者の考えを理解しようとする意欲・態度を有している。

経済学部

経済学部では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、学科ごとに掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

経済学科

経済学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。
(知識・技能)

1. 高等学校までの履修内容のうち、国語、外国語、数学、地理歴史、公民について、基本的な内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。
(思考・判断・表現)
2. 身近な経済・社会問題に対して、知識や情報をもって、一貫した筋道を立てて考察することができる。
3. 与えられた課題や資料の内容を正確に読み取った上で、考えをまとめ、的確に発信し、表現することができる。
4. スポーツ、音楽、自然、文化など、多様な価値観を認めた上で、自らの考えを相手に伝えることができる。
(関心・意欲・態度)
5. 経済学に関心があり、その専門知識や経験を会得し、日常生活や社会において活かしたいという意欲がある。
6. 歴史、政治、地理、言語など、経済と関わりがある幅広い分野に関心がある。
7. 積極的に他者とコミュニケーションをとることによって、相互理解に努めようとする意欲がある。

経営学科

経営学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。
(知識・技能)

1. 高等学校までの履修内容のうち、国語、外国語、数学、地理歴史、公民について、基本的な内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。
(思考・判断・表現)
2. 身近な企業の活動、経済、政治、社会の動きに対して、正確な知識や情報を収集し、一貫した筋道を立てて思考する力を備えている。
3. 与えられた課題や資料の内容を正確に読み取った上で、考えをまとめ、的確に発信し、表現する力を持っている。
(関心・意欲・態度)
4. 経営学に関心があり、その専門知識や経験を会得し、日常生活や社会において活かしたいという意欲がある。
5. 科学、芸術、自然、文化、スポーツなど幅広い分野に関心を持ち、世界各地で共通する価値とともに多様な存在を受け入れることができる。

6. 積極的に他者とコミュニケーションをとり、相互理解に努める意欲があり、柔軟性のある思考をすることができる。

文学部

文学部では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、学科ごとに掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

哲学科

哲学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

（知識・技能）

1. 高等学校までの履修内容のうち、国語、外国語、数学、地理歴史、公民について、基本的な内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。

（思考・判断・表現）

2. 自身の見地から物事を論理的に考え、その内容、仮定、結果などを的確に表現し、伝えることができる。

（関心・意欲・態度）

3. 哲学・思想史と美学・美術史の諸問題に、授業内容の修得にとどまらず、自発的に関心を持ち、その関心をより深めるために学問、調査、研究を行う意欲がある。

史学科

史学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

（知識・技能）

1. 高等学校までの履修内容のうち、国語、外国語、数学、地理歴史、公民について、基本的な内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。

（思考・判断・表現）

2. 先入観なく、人間社会の多様なあり方を認識し、あくまで証拠（史資料）に基づいて合理的に判断し、その結果を論理的に説明できる。

3. 社会で起こっている諸現象に対して、日常的に証拠を考えたり、その現象が起こる理由や影響を考えたりする習慣を高校生らしい感性で身につけている。

（関心・意欲・態度）

4. 自らの研究課題を見つけるため、高等学校の授業の他、自発的な読書や博物館等の見学、ボランティアなどの課外活動を積極的に行い、過去の歴史的社會のみならず、現代社會の諸現象への問題意識を持っている。

日本語日本文学科

日本語日本文学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

（知識・技能）

1. 高等学校までの履修内容のうち、国語、外国語、数学、地理歴史、公民について、基本的な内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。

2. 教科書だけでなく、興味のあることについて読書をする習慣を養っている。

（思考・判断・表現）

3. 高等学校までの履修内容のうち、特に、「国語表現Ⅰ、Ⅱ」「国語総合」「現代文」「古典」「古典講読」な

どを通じて、日本語・日本文学・日本文化・日本語教育について、深い興味と関心を持っているとともに、話す・聞く・読む・書くというコミュニケーションの基礎的な能力を身につけている。

4. 高等学校までの英語などの外国語教育をいかして、世界と交流する自覚を持っている。

(関心・意欲・態度)

5. 日本語・日本文学・日本文化・日本語教育に関する現代的、国際的、あるいは歴史的な諸問題について、気になることを発見したら、図書館やネットなどを活用して、自主的な学習に取り組む意欲がある。
6. 収集した知識や情報をもとに、論理的に考察して、その結果を説明することができる。

英語英米文化学科

英語英米文化学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

(知識・技能)

1. 高等学校までの履修内容のうち、国語、外国語、数学、地理歴史、公民について、基本的な内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。

(思考・判断・表現)

2. 身近な社会問題に対して主体的に関心を持ち、知識や情報を基に論理的に考え、その判断を具体的に表現できる。

(関心・意欲・態度)

3. 英語スキルに関して強い向上心を持つとともに、英語圏社会・文化と関わる領域で卒業後の希望・進路に合わせて具体的な目標を定め、持続的・継続的にトレーニングを実行できる。

ドイツ語圏文化学科

ドイツ語圏文化学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

(知識・技能)

1. 高等学校までの履修内容のうち、国語、外国語、数学、地理歴史、公民について、基本的な内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。

(思考・判断・表現)

2. 現代社会において身近に見られる言語・文化に関係する事柄や社会的問題について関心を持ち、情報を積極的に求め、自分なりの思考を展開することができる。
3. 与えられた情報の内容の概略を適切にまとめ、それに対する自らの考えを明確に筋道をたてて説明することができる。

(関心・意欲・態度)

4. ドイツ語圏の言語・文化・社会事情について強い関心を持ち、さらにヨーロッパや世界情勢と関連させて考えようとする意欲がある。
5. 他者の意見に耳を傾け、積極的にコミュニケーションをとる姿勢がある。

フランス語圏文化学科

フランス語圏文化学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

(知識・技能)

1. 高等学校までの履修内容のうち、国語、外国語、数学、地理歴史、公民について、基本的な内容を理解し、

高等学校卒業相当の知識を有している。

(思考・判断・表現)

2. 高等学校の国語、とくに現代文において、文学作品に偏らず、社会・政治・哲学的内容をもった批評文を読み解き、その論の妥当性を判断し、自分の考えを言葉で表現することができる。

(関心・意欲・態度)

3. フランス語圏のみならず、広く外国の文化現象に対して好奇心を持ち、日常的な読書などを通じて、その好奇心を積極的に深める習慣を持っている。

心理学科

心理学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

(知識・技能)

1. 高等学校までの履修内容のうち、国語、外国語、数学、地理歴史、公民について、基本的な内容を理解し、高等学校卒業相当の知識を有している。

(思考・判断・表現)

2. 科学的思考を用いることができる。
3. 自分の見方・考え方を相対化することができ、その上で相手に伝えることができる。
4. 心に対する一般的な見方や個人の経験に根ざした先入観にとらわれずに、心理に関わる問題について考えることができる。

(関心・意欲・態度)

5. 人間とその心に対する純然たる興味・関心を持っている。
6. 個人や社会が抱える心理的問題の解決を通じて、社会へ貢献する志向を持っている。

理学部

理学部では、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)及び教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるために必要な、学科ごとに掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

物理学科

物理学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

(知識・技能)

1. 科学の基本となる考え方や基礎的な知識を持っている。
2. 物理学分野についての能力や知識がある。

(思考・判断・表現)

3. 論理的に考えることができ、自然や数理の世界を観察できる。
4. 幅広い自然科学の知識に加え、広い視野と柔軟な発想力を持ち、その発想を伝えることができる。

(関心・意欲・態度)

5. 実験や計算をすることに積極的で、熱意と好奇心にあふれている。
6. 理科系の分野だけでなく、語学や国語にも力を入れ、幅広い分野に関心がある。

化学科

化学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

(知識・技能)

1. 科学の基本となる考え方や基礎的な知識を持っている。
2. 化学分野についての能力や知識がある。

(思考・判断・表現)

3. 論理的に考えることができ、自然や数理の世界を観察できる。
4. 幅広い自然科学の知識に加え、広い視野と柔軟な発想力を持ち、その発想を伝えることができる。

(関心・意欲・態度)

5. 自分の手を動かし、実験や計算をすることに積極的で、熱意と好奇心にあふれている。
6. 理科系の分野だけでなく、語学や国語にも力を入れ、幅広い分野に関心がある。

数学科

数学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

(知識・技能)

1. 科学の基本となる考え方や基礎的な知識を持っている。
2. 高等学校で学ぶ数学分野についての能力や知識がある。

(思考・判断・表現)

3. 自分の頭でしっかりと物を考え、自分の目で自然や数理の世界を観察できる。
4. 定理や公式の本質を理解し、基本に立ち戻って考えることで未知の問題に対処できる。

(関心・意欲・態度)

5. 自分の手を動かし、実験や計算をすることに積極的で、熱意と好奇心にあふれている。
6. 理科系の分野だけでなく、幅広い分野に関心がある。

生命科学科

生命科学科では、次に掲げる知識・能力や目的意識・意欲を備えた学生を、各種選抜試験を通じて受け入れます。

(知識・技能)

1. 科学の基本となる考え方や基礎的な知識を持っている。
2. 生命科学分野についての能力や知識がある。

(思考・判断・表現)

3. 自分の頭でしっかりと物を考え、自分の目で自然や数理の世界を観察できる。
4. 幅広い自然科学の知識に加え、広い視野と柔軟な発想力を持ち、その発想を伝えることができる。

(関心・意欲・態度)

5. 自分の手を動かし、実験や計算をすることに積極的で、熱意と好奇心にあふれている。
6. 理科系の分野だけでなく、語学や国語にも力を入れ、幅広い分野に関心がある。

② 趣旨

本学では、海外での生活・就学の経験を持つ生徒を積極的に受け入れることで、学生の構成を多様化して学部の活性化をはかるとともに、社会で貢献できる幅広い人材を育成していくことを目的として、「外国高等学校出身者」および「海外帰国生徒」を対象に、優秀な生徒を選抜するための特別の入学試験制度を設けています。

③ 試験日程・試験科目等一覧

*出願は、1つの学部・学科に限ります。

*法学部と経済学部は第1次選考（書類選考）を行います。

学 部	法学部	経済学部	文学部	理学部
学 科	法 学 科 政治学科	経済学科 経営学科	哲学科 史学科 日本語日本文学科 英語英米文化学科 ドイツ語圏文化学科 フランス語圏文化学科 心理学科	物 理 学 科 化 学 科 数 学 科 生命科学科
募 集 年 次	1 年次（2020 年 4 月入学）			
募 集 人 員	各学科 若干名	各学科 若干名	各学科 若干名	各学科 若干名
出 願 期 間	8 月 21 日（水）～8 月 23 日（金）（窓口持参）			11月1日（金）～ 11月5日（火） （窓口持参）
第 1 次選考	書 類 選 考			
第 1 次 合 格 発 表	9 月 13 日（金）	9 月 13 日（金）		
	本学ホームページでの発表および郵送			
最終選考検定料 納 付 期 間	9 月 13 日（金）～ 9 月 20 日（金）	9 月 13 日（金）～ 9 月 20 日（金）		
最 終 選 考	9 月 28 日（土） 小論文（日本語） 10：00～11：30 面 接（日本語） 13：30～	9 月 28 日（土） 外国語（英文和訳） 10：00～11：30 面 接（日本語） 13：30～	9 月 28 日（土） 外国語 9：00～10：00 ^{*1} 日本語 10：40～11：40 小論文（日本語） 12：00～13：00 面 接（日本語） ^{*2,3} *1 外国語は英・独・仏・ 中国語のうち 1 言語。 ただし、英語英米文 化学科へ出願する場 合は、英語を選択す ること *2 面接において、英語 英米文化学科では英 語で簡単な質問を行 うことがあります。また、 ドイツ語圏文化学科 では、ドイツ語既習者 に対してドイツ語で簡 単な質問を行うことが あります。フランス語 圏文化学科では、フ ランス語既習者に対し てフランス語で簡単な 質問を行います。 *3 面接の時間は当日指 示します。	11 月 24 日（日） 物理学科：物理と数学の基礎 的な筆記試験（30 分程度）の後、面 接試験を行います。 化学科：化学と数学の筆記 試験の後、面接試 験を行います。 数学科：数学の筆記試験の 後、面接試験を行 います。 生命科学科：理科（出願時に生物・ 化学・物理のうち1科 目を選択）の筆記試 験の後、面接試験を 行います。 ※面接試験は日本語で 行います。 ※試験場・時間は、受 験票に記載します。
最 終 合 格 発 表	10 月 4 日（金）10：00	10 月 4 日（金）10：00		11 月 29 日（金）10：00
	本学ホームページでの発表および郵送			
入 学 手 続 締 切	10 月 17 日（木）	10 月 17 日（木）		12 月 12 日（木）
延 納 分 納 入 締 切	12 月 12 日（木）	12 月 12 日（木）		

*試験場については、22 頁を参照してください。

*入学手続時納付金の納付方法は2段階方式です（法・経済・文学部のみ）。延納手続方法については、16 頁を参照してください。

④ 出願資格・出願書類

受験希望者は、「A 外国高等学校出身者」と「B 海外帰国生徒（日本の高等学校≪中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ≫出身者）」とがあるので、対象となる項目を読んでください。

【出願資格】

A 外国高等学校出身者（＊１）

次の１～４（法学部・経済学部へ出願の場合は１～５）の条件を満たしている者。

- １．日本語による講義を理解する能力を有していること。
- ２．法学部、経済学部、理学部への出願については、国籍を問わない。文学部への出願については、日本国籍を有する者または日本国の永住権を有する外国籍の者であること。
- ３．以下の①・②のいずれかに該当する者であること。

① 外国において、最終学年を含めて２学年（＊２）以上継続して学校教育を受けていること。

＊外国高等学校の最終学年とその前の学年すべてに在籍していること。

② 外国において、最終学年を含み、日本での中等教育（中学１年～高校３年）に相当する学年の内、通算して４学年（＊２）以上学校教育を受けていること。

＊外国高等学校の最終学年すべてと、それ以外に、中等教育相当学年に通算して３学年（＊２）以上在籍していること。

ただし、必要単位取得等により繰上げ卒業した者またはその見込者は、繰上げ卒業時から逆算し、２学年以上在籍していること。また外国に設置されている学校であっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校—在外教育施設—に在学した者については、その期間を、外国において学校教育を受けた期間とはみなさない。

- ４．以下の①～⑤のいずれかに該当する者であること。

① 外国において学校教育における１２年の課程を、２０１８年４月１日から２０２０年３月３１日までに、卒業（修了）した者または同見込の者。

＊「繰上げ」または「飛び級」の結果、通算年数が１２年に満たないで卒業（修了）した者または同見込の者を含む。

＊「１２年の課程」には、日本における通常の課程による学校教育の期間も含まれる。

＊外国において１２年に満たない課程であっても、高等学校に対応する学校の課程で文部科学大臣が別に指定したものを修了した者も含まれる。

② ２０１８年１月１日以降に、外国において、国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書（IBD）を授与された者で、２０２０年４月１日までに１８歳に達する者。

③ 日本国内の学校（＊３）を卒業（修了）し、国際バカロレア事務局から国際バカロレア資格証書を２０１８年または２０１９年に授与された者。

④ ２０１８年１月１日以降に、各国の教育制度によりその国の大学受験資格を取得した者。

⑤ 上記の資格条件と同等の資格があると本学が認めた者。

５．

① 法学部への出願にあたっては、高等学校卒業時に実施される国家試験等の統一試験またはこれに準ずる試験、もしくは自身の語学力を示す外国語検定試験のいずれかを受験しており、その合格を証明する書類または公式スコア（資格証書）が提出できること。（自身の語学力を示す外国語検定試験

の合格を証明する書類または公式スコアは、出願時に取得後2年以内のものに限る)

- ② 経済学部へ出願にあたっては、TOEFL[®]PBT (Paper-based Test) または iBT (Internet-based Test) を受験しており、出願時に取得後2年以内のスコアが提出できること。

(※1) 一日本国内にある外国学校 (アメリカンスクールなど) は不可。

(※2) 一「○学年以上」という要件は、「学年」でカウントするため、○学年の全学期分の海外の成績の提出が必要。

(※3) 一国際バカロレア事業に参加している在日国際学校など。

B 海外帰国生徒 (日本の高等学校出身者)

次の1～4の条件を満たしている者。

1. 日本語による講義を理解する能力を有していること。
2. 保護者の海外勤務にともない海外で教育を受けていること。
3. 日本国籍を有する者または日本国の永住権を有する外国籍の者であること。
4. 以下の学部別条件を満たしていること。

法学部・経済学部・理学部に出願する場合

- ① 中・高等学校を通じ、2学年 (※) 以上継続または通算して3学年 (※) 以上海外で外国の教育課程に基づく教育を受け、原則として2018年9月1日以降に日本国内の高等学校 (在外教育施設を含む) に編入した者で、2020年3月31日までに卒業または同見込の者。

または、

中・高等学校を通じ、数か年継続して海外で外国の教育課程に基づく教育を受けた者で、高等学校卒業程度認定試験 (旧大学入学資格検定) 合格者および2020年3月31日までに合格見込の者。ただし、原則として2018年9月1日以降に帰国した者に限る。

- ② 法学部のみ

高等学校卒業時に実施される国家試験等の統一試験またはこれに準ずる試験、もしくは自身の語学力を示す外国語検定試験のいずれかを受験しており、その合格を証明する書類または公式スコア (資格証書) が提出できること。(自身の語学力を示す外国語検定試験の合格を証明する書類または公式スコアは、出願時に取得後2年以内のものに限る)

- ③ 経済学部のみ

TOEFL[®]PBT (Paper-based Test) または iBT (Internet-based Test) を受験しており、出願時に取得後2年以内のスコアが提出できること。

文学部に出願する場合

中・高等学校を通じ、2学年 (※) 以上継続または通算して3学年 (※) 以上海外で外国の教育課程に基づく教育を受け、原則として2017年9月1日以降に日本国内の高等学校 (在外教育施設を含む) に編入した者で、2020年3月31日までに卒業または同見込の者。

または、

中・高等学校を通じ、数か年継続して海外で外国の教育課程に基づく教育を受けた者で、高等学校卒業程度認定試験 (旧大学入学資格検定) 合格者および2020年3月31日までに合格見込の者。ただし、原則として2017年9月1日以降に帰国した者に限る。

(外国に設置されている学校であっても、日本の学校教育法に準拠した教育をしている学校—在外教育施設—に在学した者については、その期間を、外国において学校教育を受けた期間とはみなさない。)

* 「○学年以上」という要件は、「学年」でカウントするため、○学年の全学期分の海外の成績の提出が必要。

- ① 「A 外国高等学校出身者」、「B 海外帰国生徒」いずれへの出願においても、出願資格に疑問（在籍期間が若干不足、日本の高等学校への編入時期が9月1日より若干早い、保護者の同伴がなかった期間あり、等）がある場合には、法学部・経済学部・文学部は7月16日（火）～7月19日（金）の間に、理学部は9月18日（水）～10月2日（水）の間に本学アドミッションセンターにお問い合わせください。
- ② 身体機能の障がいにより、受験および就学に際して特別な配慮を必要とする場合は、7月19日（金）までに必ず本学アドミッションセンターにお問い合わせください。

問合せ先：学習院大学アドミッションセンター TEL (03) 5992-1083 FAX (03) 5992-9237
(03) 5992-9226

【出願書類】 出願者は、各自用意した封筒（角形 2 号）に所定の出願封筒貼付用紙を貼付し、出願期間内に下記の書類を全て本学アドミッションセンター窓口を持参してください。

A：外国高等学校出身者 B：海外帰国生徒（◎全員必須／○該当者必須／△任意／－不要）

A	B	出 願 書 類
◎	◎	1. 志願票①（写真 1 枚貼付）〈本学所定用紙〉 ・ 13 頁の記入例を参考に、必要事項を記入すること。 ・ 「A 外国高等学校出身者」と「B 海外帰国生徒」では、所定用紙が異なるので注意すること。
◎	◎	2. 志願票②〈本学所定用紙〉
◎	◎	3. 写真票兼入学検定料受取書（大学提出用）〈本学所定用紙〉（写真 1 枚貼付）
◎	—	4. 外国高等学校の卒業（修了）証明書または同見込証明書 成績証明書に卒業年月が明記されている場合は省略可。
○	◎	5. 日本の高等学校の調査書（厳封） （注記） 「A：外国高等学校出身者」のうち、日本の高等学校に在籍したことがある者。 日本の高等学校が発行した成績証明書（在籍期間も証明されていること）をあわせて提出すること（ただし、在籍期間が短く成績証明書（調査書）が発行できない場合、その旨が付記された在籍期間証明書の提出に代えることができる）。
◎	◎	6. 出願資格を証明するのに必要な外国学校の成績証明書（高等学校全期間） * 1, * 2 ・ 出身学校（外国）が作成したもの。 ・ 成績証明書記載事項のうち、科目名・成績評価等が符号または略字により表示されている場合には、必ずその説明を添付すること。 （注記） ア. 転校等により複数の高等学校に在籍した者。 それぞれ在籍した学校から発行してもらうこと（ただし、最終の外国学校でそれまでの成績を認定され、全ての成績が記載されている場合、最終学校の成績証明書のみで可）。 イ. 成績証明書の提出が不可能な者（例：イギリス・オーストラリア・ニュージーランド他） これに代わるものとして学期ごとの学業評価レポート等の写しを提出すること。その際、 成績一覧〈本学所定用紙〉 を自身で作成の上、同時に提出すること。
◎	◎	7. 出願資格を証明するのに必要な外国学校の在籍期間証明書 * 1, * 2 ・ 出身学校（外国）が作成したもの。 ・ 原則として、〈本学所定用紙〉での作成を依頼し、公印を押してもらうこと。 （注記） ア. 出身学校で作成されたものがある場合は、本学の所定用紙でなくてもよい。 イ. 6. の「成績証明書」に入学（転入）・卒業（転出）年月が明記されている場合（複数の場合はそれぞれについて）、本証明書の提出は不要。 ウ. 転校等により、複数の高等学校に在籍した者は、本学所定用紙をコピーし、それぞれ在籍した学校で発行してもらうこと。（日本の場合含む） エ. 本学所定用紙は必要に応じて本学ホームページからダウンロード可能。 https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/related/request/download/overseasreturn.html
—	◎	8. 保護者の在留地および在留期間を証明する書類（①～⑤のいずれか） ① 現地の住民登録証 ② 現地の勤務先証明書 ③ 日本国の在外公館が発行する証明書 ④ 保護者の所属する機関の長が発行する証明書 ⑤ ①～④に準ずる書類
○ 経済のみ	○ 経済のみ	9. TOEFL[®] スコア票【経済学部出願者のみ】 * 1, * 3 PBT（Paper-based Test）または iBT（Internet-based Test）のスコア票。 （スコアは出願時に取得後 2 年以内のもの） ※スコア票…Examinee Score Report または Official Score Report

A	B	出 願 書 類
○ (法学部) △ (経済・文・理)	○ △	10. 資格証書（原本） * 1, * 3, * 4 「A：外国高等学校出身者」は以下の①～⑨のうちいずれかを提出することが望ましい。 法学部法学科出願者は、①～⑦、⑩のうちいずれかを必ず1つ以上提出すること。 法学部政治学科出願者は、①～⑨、⑪のうちいずれかを必ず1つ以上提出すること。 経済学部出願者は、①を必ず提出し、かつ②～⑨のうちいずれかを提出することが重要。 理学部出願者は、②～⑨のうちいずれかを提出することが重要。 ① TOEFL® スコア票 (Examinee Score Report または Official Score Report) ② アメリカの教育制度による者 (CB 実施試験の成績評価証明書) ・ SAT Reasoning Test™ ・ SAT Subject Tests™ (3 科目あることが望ましい) ③ イギリスの教育制度による者 GCE、GCSE の成績評価証明書 (「語学」「社会科学」「自然科学または数学」の3分野にわたって5科目以上であることが望ましい。さらに、5科目のうち3科目は「GCE A レベル」であることが望ましい。) ④ フランスの教育制度による者 ・ バカロレアの成績評価証明書 ・ バカロレアを取得していない者は、12年の学校教育の課程を修了していることを示す出身学校発行の証明書 ⑤ ドイツの教育制度による者 アビトゥアの成績評価証明書 ⑥ その他の国の教育制度による者 統一試験のある国については、その試験制度についての公式資料および出願者の成績評価証明書 ⑦ 国際バカロレア (IB) の教育制度による者 国際バカロレア資格を取得した者は、その資格証書の写し、および IB 最終試験 6 科目 (24 ポイント) の成績評価証明書 ⑧ 外国の大学に正科生として在学している者 在学証明書および出願までに取得した単位に関する成績証明書 ⑨ 日本留学試験を受けた者 独立行政法人 日本学生支援機構 (旧称：財団法人 日本国際教育協会) 実施の試験に基づき発行される成績証明書 ⑩ 【法学部法学科のみ】 上記①～⑦に該当する資格証書が提出できない場合、もしくは①～⑦に加えて、自身の語学力を示す外国語検定試験の合格を証明する書類またはスコア ⑪ 【法学部政治学科のみ】 上記①～⑨に該当する資格証書が提出できない場合、もしくは①～⑨に加えて、自身の語学力を示す外国語検定試験の合格を証明する書類またはスコア
○	○	11. その他 「飛び級」「繰上げ卒業」に該当する者 成績証明書・在籍期間証明書にその旨の記載がない場合は、それを証明する出身学校の作成した書類を提出すること。
△ (文)	—	12. 日本国の永住権を有する外国籍の者であることを示す書類 (文学部志願の外国高等学校出身者) 「在留カードの写し」または「住民票」(住民票の場合には「在留資格」が明記されているもの)

出願書類に関する留意事項

* 出願書類 1～3, 7 は本学所定用紙です。

* 特に海外から取り寄せる証明書類、資格証書等は、余裕を持って早めに準備をしてください。

* 1. 外国学校発行の各証明書類と資格証書については、コピーの提出を認めます。

* 2. 外国学校発行の各証明書類の厳封は不要です。各自で開封し、記載内容に誤りや不足がないか、出願要件を満たしている内容であるか、必ず確認した上で提出してください。

例えば、本学では、証明書に記載されている日付 (卒業や在籍期間を示しているものを指し、発行日ではない) について、年度だけでなく月まで必要となりますが、不備の者が多く、例年不受理となる者がいるので注意してください。

※不備の例 From 2017 to 2019 ⇒ 正しい例 From 2017. 9 to 2019. 6

* 3. TOEFL の Official Score Report または SAT のスコアを学習院大学に直送する場合は、出願締切までに到着するよう、余裕を持った日程で手続を行ってください。出願締切に間に合わない場合は無効となります。(スコアが出願期間前に到着してもかまいません。) なお、TOEFL、SAT のスコアの直送を申し込む際に必要となる学習院大学の大学コードは TOEFL 「0408」、SAT 「0052」です。

* 4. 資格証書に関しては、原本の提出を原則とします。(返却はいたしませんのでご注意ください。)

原本が1部しかない等の理由で提出できない場合は、下記 a, b いずれかの方法により、原本証明済のコピーを提出することができます:

- 原本を在学高等学校・予備校等に持参し、コピーを取ってもらい、コピーの内容が原本と相違ないことの証明を受ける。(証明の際は、証明日・証明者名を明記のうえ、証明機関の印を押印)
- 原本を学習院大学アドミッションセンターに持参し、アドミッションセンター職員がコピーを取り、コピーの内容が原本と相違ないことを証明する。(学習院大学アドミッションセンターの証明印を押印します。)

2020年度 学習院大学 志願票①

「A 外国高等学校出身者用」

(裏面も必ず記入してください。)

受驗番号(記入不要)	
------------	--

※記入上の注意

1. 志願者本人が記入してください。
2. 外国学校名等はカタカナで記入してください。
3. 黒インクまたは黒ボールペンで明確に記入してください。(2枚を糊付け、ホチキス留め等しないでください)。
4. 入学予定(編入)の年・月と卒業(修了)の年・月、提出する時期と合わせてください。
5. 入学(卒・編入)の年・月と卒業(修了)の年・月、提出する時期と合わせてください。

出願学部		フリガナ	ガクシユワイン	ハナコ	国籍	日本	写真貼付欄
文	学部	氏名	学習院 花子		性別	男	1. 上半身無帽 正面、背後無帽 正立、両肩無帽 の最近撮影したもの で受験時に本人と 確認できるもの。 縦 縦 4 cm × 横 3 cm 2. 裏面に氏名明記の うえ全面糊付。 3. 裏面に氏名明記の うえ全面糊付。 4. カラー可
史	学科	生年月日	西暦 2000 年	5 月 15 日	19 歳	3 か月	
〒11711-8518		自宅電話 03 (5992) 1083 携帯電話 080 (3333) 3333 メールアドレス gakushuin@gakushuin.ac.jp					
東京都豊島区目白 1-5-1		入学(転入)校	入学(転入)校		卒業・修了(退学)	在籍期間	
学	校	校名	入学(転入)校		卒業・修了(退学)	在籍期間	
校	歴	目白小学校	(西暦) 2007 年	4 月	(西暦) 2013 年	3 月	6 年 0 ヶ月
学	習	院中学校	(西暦) 2013 年	4 月	(西暦) 2015 年	7 月	2 年 4 ヶ月
ト	シ	マ・ジュニア・ハイスクール	(西暦) 2015 年	9 月	(西暦) 2016 年	6 月	0 年 10 ヶ月
ト	シ	マ・ハイスクール	(西暦) 2016 年	9 月	(西暦) 2019 年	6 月	2 年 10 ヶ月
年	小	学	入学	転入	入学	転入	卒業
最	小	学	入学	転入	入学	転入	卒業
出	小	学	入学	転入	入学	転入	卒業
学	校	卒業	入学	転入	入学	転入	卒業
年	小	学	入学	転入	入学	転入	卒業
最	小	学	入学	転入	入学	転入	卒業
出	小	学	入学	転入	入学	転入	卒業
学	校	卒業	入学	転入	入学	転入	卒業
年	小	学	入学	転入	入学	転入	卒業
最	小	学	入学	転入	入学	転入	卒業
出	小	学	入学	転入	入学	転入	卒業
学	校	卒業	入学	転入	入学	転入	卒業
年	小	学	入学	転入	入学	転入	卒業
最	小	学	入学	転入	入学	転入	卒業
出	小	学	入学	転入	入学	転入	卒業
学	校	卒業	入学	転入	入学	転入	卒業
年	小	学	入学	転入	入学	転入	卒業
最	小	学	入学	転入	入学	転入	卒業
出	小	学	入学	転入	入学	転入	卒業
学	校	卒業	入学	転入	入学	転入	卒業
年	小	学	入学	転入	入学	転入	卒業
最	小	学	入学	転入	入学	転入	卒業
出	小	学	入学	転入	入学	転入	卒業
学	校	卒業	入学	転入	入学	転入	卒業
年	小	学	入学	転入	入学	転入	卒業
最	小	学	入学	転入	入学	転入	卒業
出	小	学	入学	転入	入学	転入	卒業
学	校	卒業	入学	転入	入学	転入	卒業
年	小	学	入学	転入	入学	転入	卒業
最	小	学	入学	転入	入学	転入	卒業
出	小	学	入学	転入	入学	転入	卒業
学	校	卒業	入学	転入	入学	転入	卒業
年	小	学	入学	転入	入学	転入	卒業
最	小	学	入学	転入	入学	転入	卒業
出	小	学	入学	転入	入学	転入	卒業
学	校	卒業	入学	転入	入学	転入	卒業
年	小	学	入学	転入	入学	転入	卒業
最	小	学	入学	転入	入学	転入	卒業
出	小	学	入学	転入	入学	転入	卒業
学	校	卒業	入学	転入	入学	転入	卒業
年	小	学	入学	転入	入学	転入	卒業
最	小	学	入学	転入	入学	転入	卒業
出	小	学	入学	転入	入学	転入	卒業
学	校	卒業	入学	転入	入学	転入	卒業
年	小	学	入学	転入	入学	転入	卒業
最	小	学	入学	転入	入学	転入	卒業
出	小	学	入学	転入	入学	転入	卒業
学	校	卒業	入学	転入	入学		

*両面印刷してください。

「A 外国高等学校出身者用」で示します。一部異なりますが「B 海外帰国生徒用」もこれに準じて記入してください。

文 学 部	外国語	英語	受験の際の選択科目		
理 学 部	理科	生物・化学・物理	(1科目を選び○で囲んでください)		
生命科学部	学科				

5 | 2 | 0 | 0 | 0 | E

※大学使用コード

1. a～d欄のいずれか1つに○印をつけ、右に記入してください。

出 願 資 格	a. アメリカ合衆国 私立 (学校名) トシマ・ハイスクール 卒業 (見込) (西暦) 2019 年 6 月 18 日 (卒業) 卒業見込				
I B 資格	b.	年 月 日	授与	受験国名	
大学受験資格取得	c.	年 月 日	取得	国大学受験資格 (資格名)	
同等の資格がある者と認められた者	d.	年 月 日	認定		
外国語検定試験	※法学部出願者のみ記入 (西暦) 年 月 () 取得				
TOEFL®	※経済学部出願者のみ記入 (西暦) 年 月 取得				
試験名	試験年	取 得 年 月	取 得 年 月	受 験 地	
TOEFL®		2018 年 5 月		サンフランシスコ	
SAT Reasoning Test		2017 年 10 月		サンフランシスコ	
SAT Subject Tests		2017 年 10 月		サンフランシスコ	
受験した入試時に純資産証明書提出が必須試験					

1 | 7 | 1 | - | 8 | 5 | 8 | 8

〒

いずれかに○をつけてください。

日本語の能力について		受験の際の外国語以外の外国語の能力 ※文学部志願者のみ	
日本語による大学生活に	☒ 全く不安を感じない ☐ やや不安を感じる ☐ 非常に不安を感じる	程度	

保 護 者	氏 名	学習院 太郎		
現 住 所	〒	1 7 1 - 8 5 8 8	TEL	03 (5992) 1083
	東京都豊島区目白 1-5-1			

※両面印刷してください。

*両面印刷してください。

⑥ 出願期間

【法・経済・文学部】

2019年8月21日（水）、22日（木）、23日（金）（窓口持参）

【理学部】

2019年11月1日（金）、2日（土）、3日（日）、4日（月・振替休日）、5日（火）（窓口持参）

※ 11月1日～5日は、土・日・祝日・振替休日でも受け付けます。

窓口受付時間 平日・祝日 9：00～11：00、13：00～16：00

土曜 9：00～12：00

出願書類を出願用封筒（角形2号の封筒を使用）に入れて、上記出願期間内に本学アドミッションセンター窓口に持参してください（郵送による出願は一切受け付けません）。なお、記載内容について説明を求めることがあるため、出願書類は本人が持参してください。

⑦ 出願上の注意

- ① 提出書類が和文・英文以外の場合は、和訳または英訳を添付してください。
- ② 出願書類は、全てそろわないと受理しません。
- ③ 出願に際し虚偽の申請を行った者は、入学資格を失います。
- ④ 手続後は、書類の訂正や返却には一切応じません。
- ⑤ 複数の学部・学科に出願することはできません。

⑧ 入学検定料（銀行等振込）

- ① 本学所定の振込依頼書を使用し、最寄りの銀行等より電信扱いで各納付期間内に振り込んでください。
この期間外は取り扱いません。なお、ゆうちょ銀行及び郵便局からの払込はできません。**現金自動預払機〔ATM〕、インターネットによる振込は行わないでください。**
振込は日本国内からのみとし、国外からの振込・送金は認めません。

I. 法学部・経済学部

第1次選考検定料納付期間：2019年8月14日（水）～8月23日（金）

第1次選考検定料 15,000円

第1次合格発表 2019年9月13日（金）10：00

最終選考検定料納付期間：2019年9月13日（金）～9月20日（金）

最終選考検定料 20,000円

II. 文学部

入学検定料納付期間：2019年8月14日（水）～8月23日（金）

入学検定料 35,000円

III. 理学部

入学検定料納付期間：2019年10月15日（火）～11月5日（火）

入学検定料 35,000円

（11月2日（土）～11月4日（月・振替休日）は振込みが出来ませんのでご注意ください。）

- ② 入学検定料振込依頼書（取扱店保存）のコード欄には、下表の志望学科コード（2桁）を必ず記入してください。

法学部		経済学部		文学部		理学部	
法学科	11	経済学科	21	哲学科	31	物理学科	41
政治学科	12	経営学科	22	史学科	32	化学科	42
				日本語日本文学科	33	数学科	43
				英語英米文化学科	34	生命科学科	44
				ドイツ語圏文化学科	35		
				フランス語圏文化学科	36		
				心理学科	37		

- ③ 写真票兼入学検定料受取書（大学提出用）は写真を貼付し、他の出願書類と共に提出してください。
- ④ 検定料を銀行に振り込んだ後は、学部学科を変更することはできません。
- ⑤ いったん提出した書類および納入した入学検定料は、原則として返還しません。ただし、「入学検定料返還の対象となる理由」のいずれかのケースに該当し、かつ「入学検定料の返還手続」に則り、検定料返還願が受理された場合は、入学検定料を返還いたします（21 頁参照）。この場合、返還には時間がかかりますので予めご承知おきください。
- また、振込手数料については返還することができません。

9 受験票

法学部・経済学部志願者は9月10日(火)、文学部志願者は9月19日(木)、理学部志願者は11月12日(火)までに受験票が到着しない場合は、必ず本学アドミッションセンターまで問い合わせてください。

10 受験上の注意

- ① 最終選考の試験場は構内案内図（22 頁）を参照してください（試験室は、当日掲示にてお知らせします）。理学部は受験票発送時にお知らせします。
- ② 最終選考の受験者は、必ず試験開始時刻の 10 分前までに試験場に入り、自分の受験番号の席についてください（試験場への入場は 30 分前から可）。
- ③ スマートフォン・携帯電話・スマートウォッチ等は最終選考の試験場（教室）に入る前に、電源を切っておくとともに、アラーム機能を解除しておいてください。スマートフォン・携帯電話・スマートウォッチ等を時計の代用として使用することは一切認めません。携帯電話・時計等の電子機器が鳴動した場合には、監督者が受験者本人の了承を得ずに該当物（鞆等に入っている場合は鞆ごと）を試験室外に持ち出し、試験本部で試験終了まで保管します。
- ④ 試験開始後 15 分を過ぎた場合は、原則として試験場に入ることを認めません。
- ⑤ 受験票は、試験の当日かならず携帯し、試験場では机上に置いてください。
- ⑥ 試験開始後 40 分間は、退室を認めません。
- ⑦ 試験の際、不正行為を行った者は、受験および入学資格を失います。

11 合格発表

【法・経済・文学部】

第1次合格発表 2019年 9月13日(金) 10:00 (法・経済学部)

最終合格発表 2019年 10月 4日(金) 10:00

【理学部】

合格発表 2019年 11月29日(金) 10:00

1. アドミッションセンターホームページ (<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/>) に合格者の受験番号一覧を掲載します。

また、合格者には、併せて「手続き書類等」を速達郵便で送付します。

2. 可否に関する問い合わせには、一切応じません。

12 入学手続（詳細は、合格者に送付する「入学手続要項」を参照してください）

1. 入学手続締切日 法学部 2019年 10月17日(木)

経済・文学部 2019年 10月17日(木)

理学部 2019年 12月12日(木)

2. 受付方法 必要書類を簡易書留（かつ速達扱い）で郵送してください。

*入学手続締切日までに入学手続を完了しない者は、入学資格を失います。

*卒業見込（修了見込・合格見込）で出願した者については、後日、卒業証明書等の提出が必要となります。なお、2020年3月31日までに卒業または修了することができない方は、入学資格が取り消されます。

*いったん提出された書類は、一切返却いたしません。

3. 授業料等の延納手続について（法・経済・文学部のみ）

授業料等の延納を希望する者は、当該学部締切日までに入学金を納入すれば、法学部・経済学部・文学部は2019年12月12日(木)まで延納分の授業料等を延納することができます（詳細は「入学手続要項」に記載）。

13 入学辞退について

本学への入学手続を行った後、入学辞退を希望し、2020年3月31日(火) 16:00までに本学（アドミッションセンター）に申し出た者に対しては、入学金を除く納入済みの入学手続時納付金（授業料・施設設備費他）を返還します。詳細は、合格者に送付する「入学手続要項」を参照してください。

14 過去 5 年間の選考結果

学部	学科	年度		2019 年度		2018 年度		2017 年度		2016 年度		2015 年度	
		志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者	志願者	合格者
法	法	12	5	22	8	25	8	14	7	10	4		
	政治	10	6	26	13	20	5	11	5	10	2		
経済	経済	10	2	7	3	12	7	10	2	4	2		
	経営	20	7	16	9	25	8	13	7	17	2		
文	哲	3	2	1	0	4	1	2	1	4	1		
	史	3	2	3	1	9	2	5	1	3	2		
	日本語日本文	8	3	7	3	8	3	5	2	5	2		
	英語英米文化	16	4	14	5	13	5	21	8	25	8		
	ドイツ語圏文化	2	1	6	1	4	0	8	2	3	0		
	フランス語圏文化	4	2	1	1	7	3	2	0	3	0		
	心理	13	5	17	4	20	3	18	4	16	2		
理	物理	1	0	0	0	1	1	2	0	1	0		
	化	3	0	0	0	1	0	0	0	3	2		
	数	1	1	3	1	1	0	0	0	0	0		
	生命科	3	0	3	1	5	2	2	2	3	0		

15 参考：2019 年度学習院大学入学者納付金

(単位：円)

区 分 費 目	法 学 部	経 済 学 部	文 学 部		理 学 部		国際社会科学部
			哲学科・史学科 日本語日本文学科 英語英米文化学科 ドイツ語圏文化学科 フランス語圏文化学科	心理学科 教育学科	物理学科 化学科 生命科学科	数 学 科	国際社会科学科
入 学 金	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000	200,000
在 籍 料	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000
授業料 第1期	343,000	343,000	385,000	385,000	542,000	542,000	452,500
授業料 第2期	※ 343,000	※ 343,000	※ 385,000	※ 385,000	※ 542,000	※ 542,000	※ 452,500
研究実験費	—	—	—	30,000	80,000	—	—
施設設備費	280,000	280,000	270,000	270,000	330,000	330,000	270,000
父 母 会 費	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
輔 仁 会 費	6,300	6,300	6,300	6,300	6,300	6,300	6,300
学習院大代 学 学 新 聞	500	500	500	500	500	500	500
学 会 費	2,500	—	2,000	2,000	—	—	—
1 年次							
入学手続時納付額	897,300	894,800	928,800	958,800	1,223,800	1,143,800	994,300
第2期納付額	※ 343,000	※ 343,000	※ 385,000	※ 385,000	※ 542,000	※ 542,000	※ 452,500
合 計	1,240,300	1,237,800	1,313,800	1,343,800	1,765,800	1,685,800	1,446,800
2 年次以降							
第1期納付額	697,300	694,800	728,800	758,800	1,023,800	943,800	794,300
第2期納付額	343,000	343,000	385,000	385,000	542,000	542,000	452,500
合 計	1,040,300	1,037,800	1,113,800	1,143,800	1,565,800	1,485,800	1,246,800

※第2期分の振込依頼書は、9月中旬に保証人宛に送付いたします。

注意 1. 2 年次以降の納付は毎年第1期分を4月、第2期分を9月の年2回に分けて行います。

なお、4月に年額を1回で納付することもできます。

- 2019 年度入学者の納付金のうち、在籍料、授業料および施設設備費については、卒業まで同額とします。在籍料、授業料および施設設備費以外の納付金に変更があった場合には、新たに定められた金額を納付するものとします。
- 国際社会科学部は上記のほかに海外研修が必須のため、海外研修費用（往復航空運賃、現地授業料、宿泊費、企画料金等）が必要となります。おおよその金額は以下のとおりです。

・夏・春季休業を利用した短期海外研修：約 30 万円～100 万円
 ・約 1 学期間の中期海外研修（協定外留学）：約 80 万円～300 万円
 ・約 1 年間の長期海外研修（協定外留学）：中期海外研修の 2 倍程度

協定留学の場合には、留学先授業料の納付が免除されることがあります。なお、中・長期留学先での学費負担がある場合、協定留学・協定外留学いずれも、留学している期間の本学の授業料と施設設備費が減免されます。また、授業などでノート PC の利用が必須となります。ノート PC は各自で手配していただきますが、おおよその金額は約 10 万円～15 万円です。

参考：その他資格取得の場合の納付額（教職課程・学芸員課程）（2019 年度参考）

教 職 課 程： 教職課程履修費 正式履修時、履修者全員 15,000 円
 介護等体験費 3 年次、小学校 中学校の免許状取得希望者 10,260 円
 学芸員課程： 博物館に関する科目履修費として履修開始年度 4 月に 10,000 円
 博物館実習履修費として実習履修年度 4 月に 5,000 円

○上記納付金のほかに、校友会基本会費（永年同窓会費：徴収は 1 回のみ）35,000 円を入学後 3 年目の学費第 1 期分にて徴収いたします。

校友会基本会費に関するお問合せは、校友会事務局にご照会願います。

校友会事務局 03-3988-3288 学習院目白キャンパス内

学習院大学新入学生特別給付奨学金

本学では、新入学生の納付金負担を軽減するため、入学後に 20 万円（入学金相当額）を給付する奨学金制度を設けております。申請要件等の詳細は学生センター学生課までお問い合わせください。

寄 付 金

本学では、新入学生のご父母・保証人の皆様に、学習院の発展並びに教育改革推進のためのご寄付（任意）をお願いしております。入学後に改めてご案内をお送りする予定でございますので、ご理解のうえご協力くださいますようお願い申し上げます。

16 「外国高等学校出身者および海外帰国生徒対象入学」出願に関するQ & A

学習院大学ホームページ <https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/>

問い合わせ先 03-5992-1083、03-5992-9226 学習院大学アドミッションセンター

1. 出願資格について

Q1. 出願資格に関して質問があります。

A1. 法学部・経済学部・文学部は、2019年7月16日（火）～7月19日（金）、理学部は9月18日（水）～10月2日（水）の間に、「出願資格事前審査申請書」〈本学所定用紙〉に必要書類を添えて申請してください。審査内容により提出書類が異なりますので、お早めに本学アドミッションセンターまでお問い合わせください。

本申請書は、本学ホームページよりダウンロードすることができます。

2. 出願書類

〈全般〉

Q2-1. 英語圏以外の国の学校で、英文での証明書の発行はできないと言われました。

A2-1. 提出書類が和文・英文以外の場合は、和訳または英訳を添付してください。

Q2-2. 外国学校発行の各種証明書と資格証書が一部しか手元にない場合、原本提出の必要はありますか？

A2-2. コピーの提出を認めており、原本提出は不要です。

Q2-3. 外国学校発行の各種証明書と資格証書は、厳封の必要はありますか？

A2-3. 厳封は不要です。各自で開封し、記載内容に誤りや不足がないか、出願要件を満たした内容であるか、必ず確認した上で提出してください。

Q2-4. 志願票の入学（転・編入学）の年・月、卒業・修了（退学）の年・月の記載が自分の出入国日か、提出する証明書の日付のどちらを記載すればよいかわかりません。

A2-4. 提出する証明書と合わせてください。

〈成績証明書について〉

Q2-5. 「A外国高等学校出身者」の出願希望者で日本の高等学校に在籍したことがありますが、在籍期間が短期間のため、成績証明書（調査書）の発行は出来ないと日本の高等学校から言われました。

A2-5. 成績証明書（調査書）が発行できない理由を付記した在籍期間証明書を発行してもらうように、日本の高等学校に依頼してください。

〈在籍期間証明書について〉

Q2-6. 在籍期間証明書は、学習院大学の所定用紙でなくてもよろしいですか？

A2-6. 出身学校で作成されたものがある場合は、本学の所定用紙を使用する必要はありません。

ただし、成績証明書に入学（転入）・卒業（転出）年月が明記されている場合、本証明書の提出は不要です。本学所定用紙は、本学ホームページからダウンロードすることができます。

〈資格証書 (TOEFL® 等)〉

Q2-7. TOEFL® 実施事務局からのスコア票が未着の場合、My Home Page* の "View Score" 出力画面を公式スコアとして提出しても良いですか？【法学部・経済学部】

＊注) 米国 ETS の TOEFL® テスト公式ホームページ上で作成できる個人のアカウントページ

A2-7. 認められません。本学では、"Examinee Score Report" または "Official Score Report" の提出を求めます。

Q2-8. 国際バカロレア (IB) 試験本部からの成績評価証明書および Diploma が手元に届かず、出願期間内に提出することができません。その場合、志願票の「受験した統一試験」の欄には記載できますか？

A2-8. 出願期間内に受験結果を提出することができない場合は、記載することができません。

ただし、試験本部からの成績通知、Diploma 送付が遅れる場合でも、出身高等学校が、成績と Diploma が受容されたことを記載した証明書を発行した場合は、その証明書を資格証書として受理します。また、志願票にも記載することができます。

Q2-9. 法学部では、出願資格の一つに「自身の語学力を示す外国語検定試験の合格を証明する書類または公式スコア」があげられていますが、対象となる言語と検定試験はどのようなものですか？また、目安となる公式スコアはありますか？

A2-9. 対象となる言語として想定しているのは、主に英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、中国語、韓国語などです。検定試験の合格を証明する書類またはスコアとして提出可能なものの例は以下の通りですが、これらに限るものではありません。

【英語】TOEIC®、TOEFL® iBT、GTEC、旧 GTEC CBT、ケンブリッジ英検、英検、IELTS、TEAP、TEAP CBT

【フランス語】DELF、実用フランス語技能検定

【ドイツ語】ゲーテ・インスティテュートの検定試験、ドイツ語技能検定試験

【スペイン語】DELE、スペイン語技能検定

【中国語】HSK、中国語検定試験、中国語コミュニケーション能力検定／TECC

【韓国語】ハングル能力検定試験、韓国語能力試験

なお、英語に関しては TOEIC® L&R 680 点以上を目安としてください。他の言語に関しては、合否を総合的に判断するにあたり、検定結果やスコアの提示を積極的に評価します。

また、複数種類の検定試験も可とします。なお、志願票に記載する場合は必ず証明書を提出してください。

3. 出 願

Q3. 出願期間には海外に滞在しており、出願書類を窓口へ持参することができません。出願書類を郵送してもかまいませんか？

A3. 出願書類は、窓口受付のみとしています。郵送による出願は一切受け付けません。志願者本人が本学アドミッションセンター窓口へ持参するようにしてください。ただし、事情によりどうしても本人が持参できない場合には、本人に代わり出願内容および出願書類の記載事項（在籍期間、成績証明書の詳細等）について

説明ができる方に限り、代理持参を認めます。

17 入学検定料の返還について

入学検定料返還の対象となる理由

以下のいずれかのケースに該当し、かつ「入学検定料の返還手続」に則り、検定料返還願が受理された場合は、入学検定料を返還いたします。

1. 書類未提出：入学検定料を納入したが、出願書類を出願期間内に提出しなかった。
2. 期間外振込：振込期間後に振り込まれた場合。
3. 過剰納入：入学検定料を適正な金額より多く納入した。
4. 出願不受理：入学検定料を支払い、出願書類を提出したが、出願書類の不備や出願資格を満たさない等の理由により、出願が受理されなかった。
5. その他：本学が認める特別な理由により、入学検定料返還の対象となった。

入学検定料の返還手続（郵送に限る）

必要書類①・②を簡易書留で2020年2月末日までに郵送してください。（消印有効）

（宛先）〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1
学習院大学アドミッションセンター

※封筒の表面に「入学検定料返還願在中」と朱書きしてください。

① 入学検定料返還願（本学所定用紙）

「入学検定料返還願」の太枠内に必要事項を記入・捺印してください。「入学検定料返還願」は本学ホームページからダウンロードするか、アドミッションセンターまでご請求ください。

② C票／振込金受取書（本人保存）

「入学検定料返還願」の裏面に、入学検定料を納入した際のC票／振込金受取書（本人保存）を貼付してください。

入学検定料返還願が受理されてから、指定の口座に入学検定料を振込むまで3週間程度時間がかかりますので予めご承知おきください。なお、振込手数料については、返還することができません。

18 在留資格の取得について

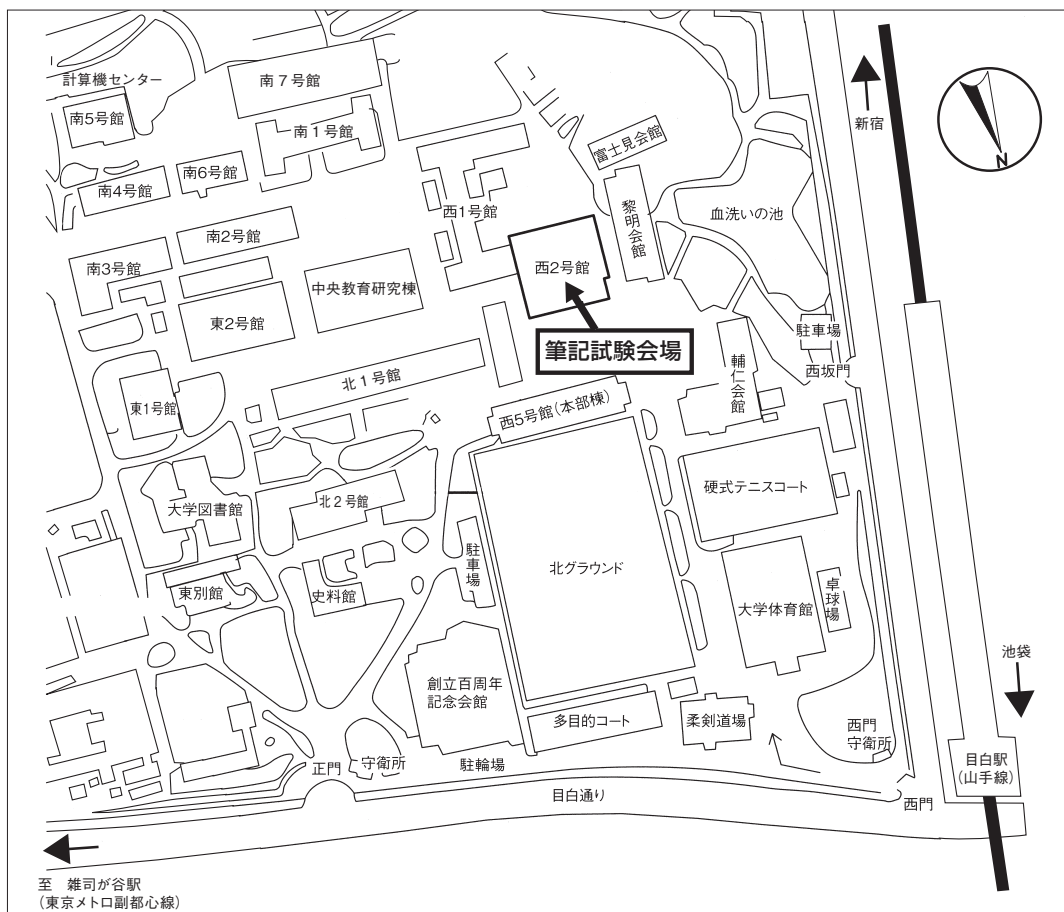
外国人受験生は、原則として入学前に「留学」の在留資格を取得してください。「留学」以外の日本に長期で滞在できる在留資格（「定住者」「家族滞在」等）でも入学・在学することはできますが、授業料減免や奨学金受給の対象になりません（「短期滞在」の在留資格で大学に在籍することはできません）。在留資格に関する申請書類の発行および入学許可証の発行手続については、本学ホームページ（<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/immigration.html>）をご確認ください。

- ※ 本学入学に支障のないビザ（有効期限が2020年4月1日以降のもの）を保有していない場合、本学での修学が不可能となります。在留資格審査は出入国在留管理を所管する行政庁が行うため、交付が遅れる場合や不許可となった場合、本学は一切の責任を負いません。また、入学辞退申込締切日時後は、いかなる理由があっても、入学手続時納付金は返還いたしません。
- ※ 入学手続時に日本国外に居住し在留資格を有しない者で、所定の期日までに入学諸手続を完了した者は、本学による「在留資格認定証明書（「留学」）の代理申請を選択することができます。代理申請を選択した者は、「在留資格認定証明書（「留学」）を大学から受領後、2020年3月31日16時までに、入学後も有効な「留学」の在留資格を証明する書類（パスポートの顔写真とビザ（査証）のスタンプページのコピー）を提出する必要があります。提出できなかった場合は、本学での修学が不可能となりますのでご注意ください（手続の詳細は上記の本学ホームページをご確認ください）。
なお、2020年3月31日16時までに入学辞退を申し出た場合は、納入済の入学手続時納付金（入学金を除く）を返還します。

19 構内案内図（理学部以外）

アドミッションセンターは、案内図中央に位置する西5号館（本部棟）4階です。

※理学部については、構内案内図を受験票に同封し、筆記・面接会場をお知らせいたします。



交通：JR 山手線 目白駅下車 徒歩3分
東京メトロ副都心線 雑司が谷駅下車 徒歩10分
*自動車による入構、駐車はできません。

試験場：筆記試験—法・経済・文学部：西2号館
理学部：受験票送付時にお知らせします。
面接試験—試験当日にお知らせします。

※お問い合わせは、下記宛に電話でお願いいたします。

学習院大学 アドミッションセンター（西5号館4階）

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1 TEL (03) 5992-1083・(03) 5992-9226

FAX (03) 5992-9237

電話受付時間 平日：9:00～11:00、13:00～16:30

土曜日：9:00～12:00

<https://www.univ.gakushuin.ac.jp/admissions/>